



～ 夢ひとすじに ～
宮原中だより

自ら学び 心豊かに たくましく

平成 27 年度 第 8 号
平成 27 年 11 月 2 日 (月) 発行
さいたま市立宮原中学校
メールアドレス
miyahara-j@saitama-city.ed.jp
ホームページアドレス
<http://miyahara-j.saitama-city.ed.jp/>

「 つ な ぐ 」

校長 やました せいじ
山下 誠二

今年の駅伝チームは、これまでのチームとは一味違う充実したメンバーとなっています。55名が練習に参加し、陸上部の他、野球部、サッカー部、バレーボール部、バスケットボール部、テニス部、水泳部、そして合唱部と多くの部活動から選抜、さらに自主参加の生徒もいました。10月22日に開催されました、さいたま市駅伝競走大会では、市内60校が参加し、男子は3年連続大会新記録で4連覇。女子も最終区間まで優勝が争われ第3位と健闘しました。11月7日に熊谷で開催される県大会では、男子は2年連続優勝で関東・全国大会出場へ、女子も関東大会出場を目指して力走します。(1位は関東・全国、4位までが関東大会に出場) 応援よろしく願いいたします。

さて、10月24日には、「未来くる先生講演会」を開催し、講師に本校の校歌を作詞していただいた宮澤章二さんの次男、新樹氏をお迎えし、宮澤章二さんの生い立ちから校歌が出来上がったいきさつ等のお話をいただきました。講演を聞いた生徒の感想文です。

前々から、校長先生が「校歌を大切に」とおっしゃっていましたが、今日、宮澤さんのお話を聞いて、改めて宮原中の校歌を大切にしていきます。宮原中の校歌には、いろいろな思いや感情が詰まっていることを改めて知ることができました。また、昔の宮原中学校の様子や校歌を作詞した方の昔のことなどを詳しく知ることができ、とてもよい授業でした。ありがとうございました。(2年5組 新谷大空)

続いて、10月26日には、地域の高齢者の方との交流給食会を実施しました。今年も90名以上の方に参加していただき、生徒と楽しく給食を食べたり、昔話等をしていただきました。今年は、昨年に続き2回目ということもあり、お互いに気づかいすることなく、自然体で話ができているのではないかと思います。このように異年齢間の交流が地域の絆につながってくると思います。お力添えをいただきました老人クラブ協議会、社会福祉協議会、民生委員・児童委員連絡協議会、わかば会等の各団体の皆様にお礼を申し上げます。

最後に私事ですが、10月4日に盆栽町にある大宮スイミングスクールで、「ギネス世界記録」に挑戦しました。一人50mを泳ぎ、1,000人でリレーをするのですが、8歳から56歳(私)までの選手が、イタリアが持っている8時間41分29秒13の世界記録更新を目指し力泳しました。8歳から56歳までの1,000人がつないだわけですが、普通に考えれば、平均年齢は32歳くらいだろうとお考えになると思います。しかし何と14.5歳でした。私が、ダントツの最年長で、オリンピックのメダリストや元代表選手も6名参加し、またチビッ子選手の活躍もあり、これまでの世界記録を約37分も縮める8時間4分39秒85の世界記録を見事達成することができました。(ちなみに私のタイムは、参加選手中1,000位でした!)



今月は、4つの話題をもとに皆様に学校だよりをお届けいたしますが、この共通点は「つなぐ」ということです。「駅伝はタスキをつなぐ」「校歌は、宮原中の伝統としてつなぐ」「交流給食は、地域の高齢者と中学生の心をつなぐ」「リレーも次の人に確実につなぐ」ということです。大切にしたいものですね。

